

部品取りを許可無く行わないでください！

使用済自動車から自動車部品の取り外し等の解体（部品取り）を行おうとする方は、自動車リサイクル法に基づく解体業者として都道府県又は保健所設置市の許可を受けてください。

自動車リサイクル法の解体業の許可を受けずに使用済自動車や解体自動車（廃車ガラ）を取り扱っていると、無許可営業として罰則（1年以下の懲役又は50万円以下の罰金）が課されます。

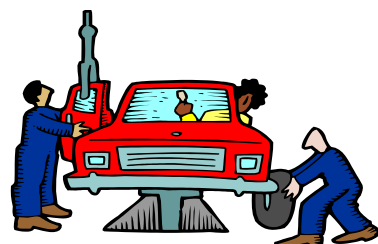
※ 既に無許可営業等の自動車リサイクル法違反により、全国で多くの事業者が逮捕等の厳しい措置を受けています。

なお、使用済自動車を解体する際には、解体業者に次のような義務が課せられています。

- 引取業者又はフロン類回収業者からの使用済自動車の引き取り
- 使用済自動車の再資源化※（バッテリー、タイヤ、廃油等の回収及び再資源化並びにその他有用物品の再資源化）

※ 再資源化：取り外した物品を製品の一部として利用できる状態にすること、燃焼が可能な物品は熱利用が可能な状態にすること。

- エアバッグ類の回収及び自動車製造業者等への引き渡し など



自動車解体部品などの輸出にご注意ください！

自動車リサイクル法では、使用済自動車や解体自動車（廃車ガラ）※などは、廃棄物処理法上の「廃棄物」とされています。

※ 自動車リサイクル法上、「解体自動車」とは、使用済自動車を解体することによって、部品、材料等有用な物品を取り外した後に残存するもの（廃車ガラ）をいいます。

自動車解体部品であったとしても表面に記載した解体業者に課せられた再資源化義務を履行せず、輸出を行おうとする事は、自動車リサイクル法及び廃棄物処理法違反となり関係行政機関より行政指導等がなされますので、ご注意ください。

<違法行為の例>

- 車上作動処理されていないエアバッグ類が取り外されていないハーフカット車の輸出
- 車上作動処理されていないエアバッグ類が取り外されていないハンドルの輸出
- 引取報告未実施の使用済自動車の解体、解体自動車の引渡報告未実施 など

また、「廃棄物」の輸出に当たっては、環境大臣の確認を受けることが求められ、違反した場合には、廃棄物処理法に基づき罰則（5年以下の懲役又は1千万円以下の罰金）が課されます。



自動車リサイクル法及び廃棄物処理法を遵守し、自動車解体部品の不適切な輸出を行わないよう注意してください。